

観光対策特別委員会の動き

●「江戸の故郷（ふるさと） おかざき観光ガイドマップ」発行

岡崎市真木
助役に報告



早川純次委員長

岡崎に観光の輝きを！

●観光まちづくり報告書 作成 ～観光文化都市を目指して～

市議会議長岡崎氏に報告

観光対策特別委員会では愛知万博などを契機に、観光に対する市民の関心が高まる中、観光を切り口とした「まち」の活性化について研究、協議を重ねてきました。このたび3年間の委員会活動（13年11月～）をふまえ『岡崎の観光資源を活かしたまちづくり基礎調査報告書（A4版48ページ）』をまとめ、岡崎市長・岡崎市議会議長・岡崎市観光協会長に報告を行いました。

報告書では、市民（民間）が主体的な役割を担う観光まちづくりの推進の必要性を述べるとともに、事業化に向けての官民共通の指針となる中長期的な観光基本計画の策定を提言しています。

また、岡崎の観光ポイントや寺社のみならず、宿泊施設・産業文化施設等の情報を満載したガイドマップを作成。

「岡崎市を訪れる観光客の利便を図るとともに、市民に、“歴史と伝統と文化のまち・岡崎”を再認識し、故郷・岡崎に誇りを持っていただきたいとの思いを込め、マップを作成いたしました。中には岡崎に住んでいても知らない情報や、「へえ～」と思わずにはいられないミニ知識も満載しています。例えば、実は岡崎には2ヶ所の伝馬があるんです。意外ですよ。



ポケットサイズ、フルカラー50ページで50,000部を作成し、掲載店や岡崎商工会議所・岡崎市観光協会窓口で無料配布するほか、開催を半年後に控えた愛知万博会場でも配布し、広く岡崎をPR、観光客の誘致を目指します。」

問合せ先 担当：商業・観光グループ 大竹・杉浦明子 53 - 6190

地域と一体化した快適な空間を ～光陽建設株式会社～

～新規事業 高齢者複合福祉施設「紅葉の杜」を運営～

代表取締役 佐野正徳氏 岡崎市若松町字西荒子29-3 (0564)52 - 3221
紅葉の杜に関するお問合せ (0564)58 - 3530



高齢社会のニーズと自社の得意分野で新規事業立ち上げ

「当社はもともと建築会社です。時代に合った新しい事業を、と考えた時、今後一層進展するであろう高齢社会のニーズと、当社の得意分野を組み合わせた事業を展開していこうとの考えがありました。福祉施設なら、社会基盤整備のお手伝いができ、社会のためになる仕事です。又、戦後日本の復興に携わって来た人達が介護を必要とする状態になってきており、そのような方々の生きがいづくりをお手伝いできれば、との思いから今回の事業開始に至りました。」



南欧をイメージした外観風景

施設のポイントは・・・

「一見リゾートホテルとも思えるような外観で、“自分が住んでもいいな”と納得できる作りであることです。外観は南欧をイメージし、自ら設計に携わりました。この施設は、○有料老人ホーム ○ショートステイ ○グループホームの3事業を1つの建物で運営しており、市内でもまだ珍しい形態ではないかと思えます。施設は個室完備で、利用者のプライバシーにも十分配慮しています。また、保証金・入居一時金を不要にする等お得な料金体系に設定しています。」

施設の目指すところは・・・

「やはり、利用者の方に生き生きと充実して過ごしていただきたいですね。ホテル並みの施設で家庭的なサービスを受けながら“生きがい”を見つけ、自身の存在価値を再認識していただける場になれば、と思います。また、隣接する小学校の児童・地域住民の方等が気軽に集う、地域と一体化した施設でありたいと思います。カルチャー講座・各種イベント開催、施設内に居酒屋を設けてみたりと、楽しく笑顔で過ごしていただける施設を目指し、ハード面の充実と共にソフト面の充実にも努めていきたいと思えます。」